

運輸新聞

E-mail inquiry@unyu.co.jp URL http://www.unyu.co.jp

発行所・運輸新聞株式会社
東京都荒川区西日暮里3-6-10
佐々木ビル3F 〒116-0013
TEL03-5685-0035
関西支社 大阪市中央区瓦町1-3-2
〒541-0048 TEL06-6209-3261
発行人・野田裕之
火・金発行(祝日を除く)
3,600円/月(送料・税込)

2021年
5月11日(火)
第17393号

全国132店舗で営業中!

トランクルームの押入れ産業

〒105-0004 東京都港区新橋6-16-10 御成門BNビル9F
TEL 03-6402-0410 honbu@oshiire.co.jp

2021年3月期決算 次期小幅な増益見込む

2021年3月期決算と次期見通し
(上段=21年3月期、下段=次期見通し)
単位=百万円、%

	売上高	前期比	営業利益	前期比
日本通運	2,079,195	△0.1	78,100	31.9
ヤマトHD	1,695,867	4.0	92,121	106.1
SGHD	1,312,085	11.8	101,726	34.8
日立物流	652,380	△3.0	36,711	9.6
三菱倉庫	213,729	△6.7	11,735	△3.8
トランコム	152,285	△6.8	8,243	9.0
アルプス物流	100,562	△0.2	4,725	14.7
サカイ引越センター	100,333	△0.5	11,132	△0.5
キムラユニティー	51,782	△4.7	2,434	△4.7
宇徳	48,722	△10.2	454	△84.0
エスライン	47,782	△2.5	1,503	54.4
安田倉庫	47,709	2.3	3,288	△5.2
岡山県貨物運送	39,499	△6.8	1,323	△8.5
杉村倉庫	10,204	△0.6	1,263	4.9
	10,240	0.3	1,110	△12.1

日本一転して大幅増益に

日本通運の2021年3月期連結決算は、営業利益が中間期の28・3%減から一転して31・9%増となった。コスト削減が功を奏した。航空輸送は1・2億円の増となった。

3月期連結決算は、営業利益が中間期の28・3%減から一転して31・9%増となった。コスト削減が功を奏した。航空輸送は1・2億円の増となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

日立物流の2021年3月期連結決算は、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

ヤマトHDは、ヤマトホールディングスの2021年3月期連結決算は、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

2021年3月期連結決算は、これまで14社が発表し、中間期の通期見通しより改善されている。14社中減収は11社だが、営業減収は6社にとどまった。BtoC(宅配)の比率の高い2社を除いた12社の単純平均は、売上高3・3%減、営業利益1・5%増だった。次期見通しは、すべての企業が増収とみているが、感染状況が見通せない中の判断のよさで、平均売上高(今期比)は5・1%増、営業利益は2・6%増と小幅増を予想。減収予想の2社はいずれも物流施設などインフラ強化のための償却費発生を挙げている。

(前期比49・8%増)、販売単価の上昇や緊急需要が押し上げた。セグメント別業績は、ロジスティクスのうち日本は売上高1兆2128億円(0・1%減)、営業利益519億円(21・3%増)、米州は減収減益、欧州は減収増益、東アジアおよび南アジア・オセアニアは増収増益。警備輸送は減収増益、重量品建設は減収減益、物流サポートは売上高478億円(5・0%増)、航空輸送は1・2億円の増となった。

ヤマトHDは、ヤマトホールディングスの2021年3月期連結決算は、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

日立物流の2021年3月期連結決算は、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

ヤマトHDは、ヤマトホールディングスの2021年3月期連結決算は、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

日通総研短観

国内1~3月
4~6月2年半ぶりプラスへ

24ポイント上昇

日通総合研究所は、企業物流短期動向調査(日通総研短観3月調査)の結果を発表。1~3月の国内向け出荷量「荷動き指数」は▽16となり、前期(10~12月)より24ポイント上昇。前回見通しより18ポイント振れている。4~6月も4とさらに上昇が続き、2年半ぶりにプラスへ。

4~6月も全機関で改善が見込まれるものの、プラスは一般トラックのみ。在庫量と営業倉庫保管量は在庫調整が進み引き続き減少傾向だが、在庫量は下止まりの方向へ。

荷動き指数の推移

	10~12月実績	1~3月実績	4~6月見通し
国内向け出荷量	▽40	▽16	13
外貨コンテナ輸出	▽25	0	▽20
輸入	▽24	0	9
国際航空輸出	▽30	2	7
輸入	▽28	▽4	▽2

改善。4~6月も全機関で改善が見込まれるものの、プラスは一般トラックのみ。在庫量と営業倉庫保管量は在庫調整が進み引き続き減少傾向だが、在庫量は下止まりの方向へ。

一方、運費・料金は、トラック運費の上昇圧力が再び強まる見通し。1~3月は全機関で上昇するが、鉄道コンテナのみが改善する。

輸出入貨物の動向は、全輸送機関で改善、国際航空・輸出は32ポイント上昇するなど改善が早い。コロナ禍から立ち上がりの早い中国などアジアがけん引。4~6月も改善が進むが、国際航空・輸入のみマイナス。外貨コンテナによる輸出入ともに上昇傾向が続く。

日本通運は、4月28日に開催した取締役会で、来月1月4日から純粋持株会社体制へ移行することを正式に決定するとともに、警備輸送事業分社化の検討を開始した。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

改善。4~6月も全機関で改善が見込まれるものの、プラスは一般トラックのみ。在庫量と営業倉庫保管量は在庫調整が進み引き続き減少傾向だが、在庫量は下止まりの方向へ。

トラック運費の上昇圧力が再び強まる見通し

1~3月は全機関で上昇するが、鉄道コンテナのみが改善する。

輸出入貨物の動向は、全輸送機関で改善、国際航空・輸出は32ポイント上昇するなど改善が早い。コロナ禍から立ち上がりの早い中国などアジアがけん引。4~6月も改善が進むが、国際航空・輸入のみマイナス。外貨コンテナによる輸出入ともに上昇傾向が続く。

日本通運は、4月28日に開催した取締役会で、来月1月4日から純粋持株会社体制へ移行することを正式に決定するとともに、警備輸送事業分社化の検討を開始した。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスが53%増収

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

次期は海外に戦略投資

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

2000件超のワクチン輸送受託

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

今後、業務の標準化とシステム化を進め、迅速に対応していく

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

2000件超のワクチン輸送受託

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

今後、業務の標準化とシステム化を進め、迅速に対応していく

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。

SGホールディングスは、SGHDの増益が功を奏し、営業利益が前年度の2・5倍にあたる567億円となった。